

飯綱山 (1917m)

1993. 2. 27. 土
天候 (快晴)

参加者 L 岡坂 準一
多田 穀 (雲表クラブOB)
伊藤 勝政 (関西登行会)

記録

快晴の中、瑪瑙山まで4人乗りの高速リフトを乗り継ぎ山頂へ登る。正面にこれから登る飯綱山が目の前にどっしりと望まれる。スキーヤーの視線を後ろに感じながら飯綱山の鞍部へひと滑りで降り、シールを付け登りだす。地図での距離、標高差から判断すると1時間前後で山頂へ着くと思ったが、倍の2時間程かかってしまった。山頂で記念撮影(山頂で写真を取るのは習慣になっている。)の後、南西へ飯綱神社へ向い、平原場の稜線をシールを付けたまま進む。滑降は飯綱神社からだ。雪に埋もれた飯綱神社より滑降に移る。山頂直下はシュカブラ状の雪質であった。標高差で200m程滑りおりると尾根が2分される。右の尾根を滑るがまもなく尾根がせばまり樹林帯に入る。狭い尾根だ。先行者のシュプールが残っている。私はなんとか滑れるが同行の友人は、山スキーが初めてのせいに苦労しているようだ。下部におりるにしたがい、樹林もすくなつたが快適にすべれたのはごく一部だった。最後は林道に下りたち、良く滑る林道をスキー滑降で国設戸隠スキー場にでる。朝出発した戸隠高原スキー場はリフトで簡単に戻りツアーフィニッシュ。

このコースは白山書房社より出版されている、山スキールート図集に写真入りで紹介されているクラシックルートなので、滑りが楽しめるかと思い期待していたが、滑降を楽しめたのは、山頂直下の斜面と下部の緩斜面で、中間は樹林帯の滑降のため、期待した程の滑降は楽しめなかった。厳冬期にスキーツアーというよりスキーを使った登山を楽しむには、特に危険な箇所もなくいいルートかもしれない。

(岡坂記)

コースタイム

戸隠高原スキー場瑪瑙発	10:00	12:00	12:30 ~12:45	14:00~15:00
国設戸隠スキー場	15:45			

食坂綱山上ノレート概念図

